

池田町の財政を考える (第一回) 町のおさいふ 歳入と歳出



町の財政は私たちの暮らしに直結

池田町の予算・決算など、財政についての情報はときどき町の広報誌「広報いけだ」に載っています。でも、たいいは、読み過ぎることが多いものです。

しかし、町の予算・決算は私たち住民の生活に直結するものばかりですし、何より私たちの税金が元手のひとつですから、少し詳しく見ておくことも必要です。

今回は、町のお財布の中身(財政の用語では「歳入」と「歳出」)について考えてみます。

松川村と比べてみる

下のグラフは池田町と松川村の歳入・歳出です。

1997年度から2017年度までの間の8年分を取り出し

て比較しています。ずいぶん変化があることがわかりますね。

比べてみて、一番大きな特徴は何でしょう。05年度から10年度まではドングリの背比べのようだった財政が、11年度になつて急に変わっていますね。池田町と松川村の差が10億円も開いていて驚きます。

15年度にはちよつと差が縮まりますが、また大きく開いています。

松川村の財政がスリムになったワケ

なぜこんなことが起きているのか不思議ですが、決算書でその原因をさぐってみると、様子が少しずつ分かってきます。

皆さんは、松川村の道の駅「寄つて停まつかわ」や温泉施設「すずむし荘」をご存じですね。

この施設は、2010年度までは松川村の直営で、そこで必要な資金や収入はすべて町の会計でやっていました。これを含めての歳入・歳出だったというわけです。

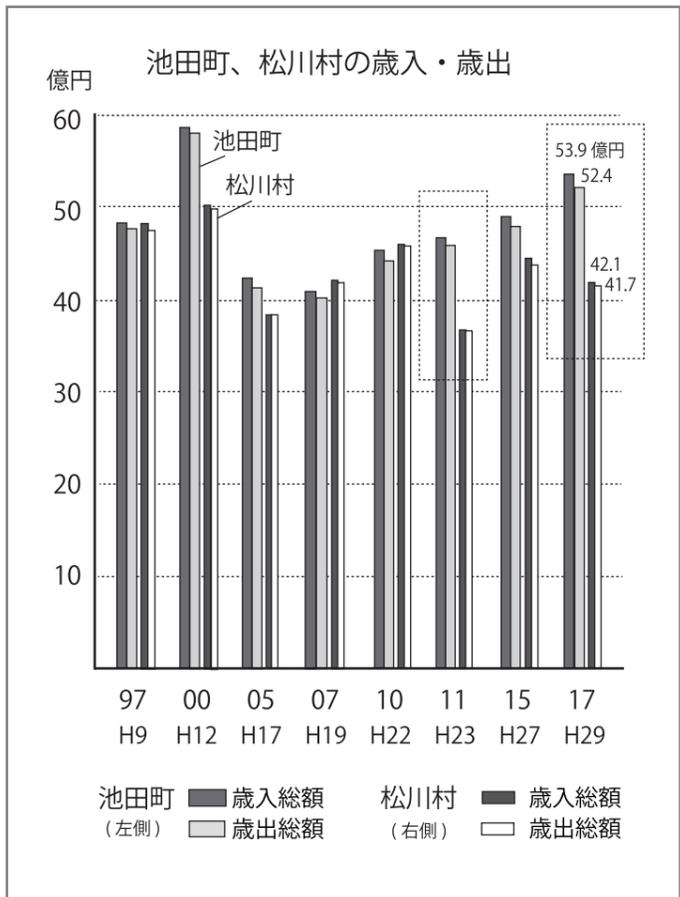
松川村は、2011年度からこれらの施設を指定管理制に移して一般財政から切り離しました。これが規模縮小の最も大きな要因です。その他、水工場建設のための

大型事業でふくらむ池田町の財政

一方、池田町の方はというと、皆さんご存じのように、地域交流センターを中心とした大型の公共事業が2015年度から始

まり、国の補助金で歳入が膨らみ、その工費で歳出が大きくなったのです。借金もたくさんしたために、これからその返済がのしかかり、池田町の財政は松川村とは対照的に、とても苦しくなることが予想されます。

このような財政の現状で、これから住民の暮らしや福祉が守られるのか、注目していくことが必要ですね。



単純に財政の規模だけで、問題がわかるわけではありませんが、町のお財布のあり方に関心を持つことがとても大事だということはお分かっていただけたと思います。

次回は、町の借金の状況について調べてみます。

(文責 村端浩)

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
 議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)
 編集責任者 服部 久子 (62-4357)
 山本 久子 (61-1066)

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

219号
2020年1月

今年こそ「安倍政治サヨナラ」の年に！ 市民と野党の共闘で政治を変えましょう

新年早々、トランプ米大統領の命令によるイラン司令官の殺害は、中東情勢を格段に緊迫させています。

安倍内閣はその中東に国会の審議なしに「自衛隊艦船派遣」を閣議決定し、2月中にも実行しようとしています。

自衛隊派遣は憲法9条違反ばかりでなく、中東の緊張を一層拡大させることとなります。

安倍首相は年頭あいさつで、「改憲は私の使命」と9条改定に異常な執念を示しました。「桜を見る会」(写真田村智子議員の国会質問)「カジノ疑

惑」「2閣僚の辞任」などの失地回復を狙い、早期の衆院解散・総選挙に打って出る可能性も取りざたされています。

安倍内閣の国民生活無視の政策は、消費税増税に続き「全世代型社会保障改革」の中味は75歳以上の医療費2割負担・年金切り下げという、高齢者負担増に外なりません。

沖縄辺野古米軍基地建設反対、国連の核兵器禁止条約の推進、原発ゼロ政策への転換、気候変動・CO2削減、労働法制・ジェンダー差別是正、社会保障の拡充など多数の課題が山積しています。

参院選では全国の一人区で野党共闘が実現し、10の選挙区で勝利しました。

長野では羽田雄一郎さんが自民候補に14万票の大差で圧勝しました。

通常国会が始まり「桜を見る会」「カジノ疑惑」等さらなる野党共闘による徹底追及が求められています。

ファンクラブは、町民の多くの方の声と力を結集して運動を展開し、将来に希望が持てる元気で生活できる池田町をめざし奮闘します。

総会と新年会を2月9日に予定しておりますので、お誘いあつてご参加ください。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

文芸欄

俳句

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

懐かしき 寅さんに会う 寝正月 邦夫
 霜柱たつ 薪の準備の抜かり無く 美ち子
 高窓を 突き抜けて来し 初日かな 幸代

コラム 有明

正月の地域新聞に「桑のある景観を取り戻すプロジェクト」が載っていた▼広津は大正時代養蚕が盛んで桑畑が多かったとのこと。昨年から地元有志が中心となり15人で荒廃農地に桑の苗木900本を植えたとのことだ。今後を増やしていく計画があると書かれていた▼ハーブセンターで販売していた桑の葉詰め放題がなくなったと町外の人から聞いたときその人気に驚き成分を調べた。葉を煮だしてすぐに抽出される成分は、血糖の吸収を抑える作用があるとのことだ。また桑の葉そのものにはカルシウムや鉄分がひじょうに多い。蚕以外の虫が嫌う桑の葉にはやはり特殊な成分があるのだから▼グミもまた美味しい。糖尿病予備軍や中性脂肪の高い人が増加傾向にある現代において必ずや需要が高まると思う。ただ、新芽は鹿などにやられてしまうのではないかと心配になる▼何とか上手く育てたいと願っている。広津の方々の地道な粘り強さに元気を貰った気がする。